

漁業

新規漁業就業者育成支援事業 拡充

「魚がおいしいまち」と評価されている福岡市ですが、漁業従事者の減少・高齢化に歯止めがかかっていません。漁業への円滑な就業と新規就業者の定着を図るため、必要な船舶免許取得や漁具等の経費に加え家賃補助等の助成を行います。



環境

豊かな海の再生事業 新規

漁場環境の改善を目的に毎年、市漁業協同組合による「博多湾漁場クリーンアップ作戦」が実施され、操業中に回収した海底ごみの量と合わせ年間約400m³にも上っています。ごみの大半は多々良川や那珂川等約40の河川流域の陸域から流れ込んだものです。「水中ドローン」とICT技術を組み合わせて、海中・海底のプラスチックごみ等の状況を「見える化」し、漁業従事者による海底ごみ回収活動の効率化を図るとともに、調査内容を市民に随時公開することで、環境保全への理解と協力を促します。さらに、魚礁や藻場の状況を把握し、効果的な施策へとつなげていきます。

教育

小中学校全学年で35人以下学級の本格的実施 拡充

昨年度、小中学校全学年で35人以下学級が暫定的に

実施されました。しかし、実施に伴い新たな教員を採用せず、現行の専科教員(理科・家庭科等)や少人数指導教員等を学級担任に充てていたため、学習指導体制に支障が生じていました。35人以下学級の本格的実施にあたり、国からの配当定数増に加え、市独自に新たに30人の非常勤講師を追加配置し、個に応じたきめ細やかな指導を継続します。

学校の働き方改革の推進 拡充

教員採用試験の新規学卒者の受験者数が減少し、競争倍率も下がっています。意欲のある教員の確保のためにも、長時間労働の縮減と業務改善を図り学校の働き方改革を進める必要があります。教員が子どもと向き合う環境づくりの一環として、単独での指導、引率が可能な部活動指導員の増員やスクール・サポートスタッフの配当日数が拡充されました。

小中学校へのエレベーター設置 新規

子どもたちは、学校と地域とのかかわりの中で成長します。福岡市では、新設校や肢体不自由特別支援学級のある学校にはエレベーターが設置されてきました。改正バリアフリー法では、既存の当該建築物にも努力義務が課され昨年度より国庫補助率が1/3から1/2に引き上げられました。本年度より、常時車いすを使用する児童生徒が在籍している奈多、田隈小学校と柏原中学校でエレベーター設置に向けた準備が始まります。



東区奈多小学校

今後、笑顔で暮らせる住みよいまちづくりにとりくみます！

福岡市の人口は2020年に160万人を超え、2035年まで増え続けると推計されています。しかし、人口動態推計によれば、シニア世代とも呼ばれる65歳以上の方の転入超過と併せ、本市の経済を支える現役ファミリー世代が逆に転出超過にあります。

元気なまちと評価され、成長を続けることは大変重要なことですが、成長が著しいことによって、市内の地価が高騰し居住地を市外に求める、またはより良い子育て支援策を求めて現役ファミリー世代が市外に移り住んでいく傾向にあります。

この人口動態をしっかりと認識し諸施策を展開していく必要があります。雇用の確保をはじめ、少子化対策、子育て支援、教育環境の充実等、負担感が大きいとされる現役世代を支えるための施策が不可欠です。また、高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に暮らすことができるように、介護サービス充実をはじめ外出機会や社会参加を後押しするための施策の拡充が必要です。政治は「今を生きる人の安心をつくり、未来を生きる人への責任を果たす」ためにあります。これからも誰もが笑顔で暮らせる住みよい福岡市を創るため、現場に行き、対話をし、施策につなげるため議会活動に取り組んでいく所存です。引き継ぎきご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



PROFILE

1956年4月1日 福岡市東区奈多生まれ
1971年 和白中学校卒業
1974年 福岡高等学校卒業
1979年 福岡教育大学卒業
1979～2006年
27年間、福岡市内の小中学校で教壇に立つ(和白東小、千代小、香椎浜小、東吉塚小、美和台小)
2019年 福岡市議会議員 三期目

所属委員会・協議会等

- ◆ 経済振興委員会
(経済観光文化局・港湾空港局・農林水産局)
- ◆ 少子・高齢化対策特別委員会
- ◆ 九州大学移転・跡地対策協議会
- ◆ 博多港地方港湾審議会
- ◆ 福岡市水産業振興審議会

おちいし俊則事務所

〒811-0204 福岡市東区奈多1-10-12
TEL 092-606-4541 FAX 092-606-6878
<http://www.ochiishi.jp/>
e-mail / info@ochiishi.jp

笑顔をつくる。

